

公益財団法人 日産財団  
**日産財団ニュースレター** (第8号)  
2014.8月発行

問合せ：公益財団法人 日産財団 沖 玲子  
E-mail oki@nissan-zaidan.or.jp  
TEL 045-620-9780 / FAX 045-620-9781  
URL http://www.nissan-zaidan.or.jp/

第2回日産財団理科教育賞 各賞が決定しました



第2回日産財団理科教育賞の選定 <講評>

選考委員長 西本清一

日産財団は、「理科教育助成」プログラムを通じて、幼・小・中学校から提案された理科教育の創意ある課題を選定し、それらの取組を支援している。また、2013年度から、2年間の実績に対する事後評価を通じて、すぐれた成果をあげた実践校を褒賞し、理科教育のGood Practice(すぐれた取組)を他校へ波及させる制度を創設した。



このたび、2011年度「理科教育助成」に採択され、2年間の取組を終えた神奈川県下12校、福岡県下7校、栃木県下4校、合計23校から提出された成果報告書による書面選考を経て、第2回理科教育賞の候補5校を選定した。これら5校による成果発表会が7月24日に開催され、最終選考の結果、下記の各賞受賞校を決定した。

【理科教育大賞(楯と副賞100万円)1校】

**福岡市立香椎東小学校**: 理科教育の質の向上を目標に、全教職員が一丸となって取り組んだ結果、理科好きに変容した先生をとおして児童が理科好きに育っていく教育の好循環が生まれており、のびしろの大きな成果につながった。

【理科教育賞(楯と副賞50万円)2校】

**相模原市立麻溝小学校**: 自然環境に親しむ体験学習システムの構築を目標に、「価値ある体験」を児童の育ちの観点から問い直し、カリキュラムを再編するとともに、実践の成果を全校の教育活動全体に波及させており、すぐれた取組になった。

**上三川町立本郷北小学校**: 「ものづくり」の体験をとおして思考力や表現力を育成し、環境に働きかける実践力の育成に繋げようとした取組において、教育効果の評価観点や指標を明確化した点が評価された。

【選考委員特別賞(楯と副賞20万円)2校】

**福岡市小学校理科研究会**: 各学年に応じた実験手順を創意工夫し、得られた結果から自然現象の仕組みを理解させる効果的な教育法を確立しており、理科教育の基盤を支える優れた取組になった。

**横浜市立三保小学校**: 学年ごとに環境学習の課題を設定し、自然に親しむ上での価値観を修得させる総合的な教育実践になっている。所定の成果を検証するために今後とも継続的な取組を期待したい。

福岡市立香椎東小学校 校長 吉瀬 卓男

理科教育大賞という光栄なる賞を賜り、職員や児童のみならず、地域・保護者の皆さんとも喜び合っています。

本校は、平成22年度までの国語科の研究を基に、自分の考えを伝え合う喜びを、対象に働きかけながら問題解決活動を行う生活科・理科において味わうことができるようにと研究を進めてきました。その中で、追究意欲を高めるための事象との出会わせ方の工夫、問題解決の過程を通してのそれぞれの気づきを交流し、科学的な見方・考え方を高めるとことについて研究を深めてきました。その中で学びの主人公である児童の「なぜだろう?」「こんな方法はどうか?」という主体的な追究の姿が数多く見られるようになってきました。

今回の受賞は、本校職員の日々の取り組みと福岡市小学校理科研究会等のご支援と日産財団からの助成そして、目を輝かせて生活科・理科に取り組んでくれている児童たちのがんばりの結晶だと考えています。

今後も生活科・理科を中心に「学び合う喜びを感じる子どもたち」を育てていきたいと思っております。

大賞

一楯と副賞 100万円



吉瀬卓男校長(中央)と重松慶教諭(向かって右)

福岡県  
福岡市立香椎東小学校

研究テーマ  
『学びあう喜びを実感する  
生活科・理科学習』

理科教育賞

一楯と副賞 50万円



栃木県  
上三川町立本郷北小学校

神奈川県  
相模原市立麻溝小学校

向かって左から  
本郷北小学校  
石崎利亮教諭、氷室清校長  
日産財団 久村春芳副理事長  
麻溝小学校  
門倉松雄校長、内田和宏教諭

選考委員特別賞

一楯と副賞 20万円



神奈川県  
横浜市立三保小学校

福岡県  
福岡市小学校理科研究会

向かって左から  
三保小学校  
井上達雄主幹教諭、山下教諭  
和泉良司校長  
日産財団 久村春芳副理事長  
福岡市小学校理科研究会  
堤一夫会長、田中智明研究部長

